

アタックテストサービス エクスプレスご利用のお客様へ

平成 16 年 6 月 10 日
富士通株式会社

6 月 9 日発表の Microsoft Windows における脆弱性について

(「DirectPlay の脆弱性により、サービス拒否が起こる」

「Crystar Reports Web Form Viewer の脆弱性により、情報の漏洩およびサービス拒否が起こる」)

拝啓、貴社益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

平素は格別なるご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

この度、「DirectPlay の脆弱性により、サービス拒否が起こる」(MS04-016)、「Crystar Reports Web Form Viewer の脆弱性により、情報の漏洩およびサービス拒否が起こる」(MS04-017)の 2 件に関する情報が 6 月 8 日付けで Qualys 社より報告されました。

下記の方法に従って、QualysGuard で本脆弱性が検出されないかをご確認ください。万が一検出された場合には、至急対処のご検討をしていただきますようお願いいたします。

敬具

記

【DirectPlay の脆弱性により、サービス拒否が起こる】

QualysID : 90112

「DirectPlay の脆弱性により、サービス拒否が起こる
("DirectPlay Denial Of Service (MS04-016)")」

[脆弱性の詳細について]

マイクロソフト社より MS04-0016 として発表された脆弱性は、特種なパケットを IDirectPlay4 の API に対して送りつけることにより、攻撃者は対象マシン上のプリケーションを動作不能とすることができます。

マイクロソフト社は、本脆弱性を最大深刻度：警告と位置づけており、ユーザーの皆様には早急にセキュリティ修正プログラムを適用していただけるようにお勧めしております。

[関連 URL]

・ Microsoft Security Bulletin MS04-016

DirectPlay の脆弱性により、サービス拒否が起こる (839643)
(日本文)

<http://www.microsoft.com/japan/technet/security/bulletin/ms04-016.asp>

(英文)

<http://www.microsoft.com/technet/security/bulletin/MS04-016.msp>

・ Qualys セキュリティアドバイザー (英文)

Microsoft Vulnerabilities: DirectPlay and Crystal Reports Web Viewer

<http://www.qualys.com/research/alerts/view.php/2004-06-08>

[確認方法]

以下の方法にて、本脆弱性のみを選択して短時間で診断することが可能です。

- 1) QualysGuard にログインし、"Preferences"->"Options"->"Profiles"より"New Profile" を作成します。
- 2) "Scanned TCP Ports"オプションの"None"を選択し、"Additional"にチェックを入れ、TCP ポート「139,445」を記入します。
- 3) "Vulnerability Detection"オプションの「Custom」を選択し、"Configure..."をクリックします。

Find を「QID」、within を「All」、containing を「90112」として"Search"し、QualysID「90112」を選択して"OK"してください。

もし、Windows(NetBIOS)マシン名でホストの脆弱性を調査したい時には、QualysID「82004」も選択してください。

- 4) "Profile Title"をつけ、最後に"Save"します。
- 5) "Scan"->"Launch Scan"で診断対象の IP を選択し、先程作成した"Options"を選択し、"Start Scan"します。

【Crystal Reports Web Form Viewer の脆弱性により、情報の漏洩およびサービス拒否が起こる】

QualysID : 90113

「Crystal Reports Web Form Viewer の脆弱性により、情報の漏洩およびサービス拒否が起こる ("Crystal Reports Web Viewer Information Disclosure/Denial of Service (MS04-017)")」

[脆弱性の詳細について]

マイクロソフト社より MS04-0017 として発表された脆弱性は、この脆弱性を悪用することにより、攻撃者が Crystal Report と Crystal EnterpriseWeb viewers を通して、ファイルを取得したり削除することを許してしまいます。

マイクロソフト社は、本脆弱性を最大深刻度：警告と位置づけており、ユーザーの皆様には早急にセキュリティ修正プログラムを適用していただけるようにお勧めしております。

[関連 URL]

・ Microsoft Security Bulletin MS04-016

Crystal Reports Web Viewer の脆弱性により、情報の漏えいおよびサービス拒否が起こる (842689)

(日本文)

<http://www.microsoft.com/japan/technet/security/bulletin/ms04-017.asp>

(英文)

<http://www.microsoft.com/technet/security/bulletin/MS04-017.msp>

・ Qualys セキュリティアドバイザリ (英文)

Microsoft Vulnerabilities: DirectPlay and Crystal Reports Web Viewer

<http://www.qualys.com/research/alerts/view.php/2004-06-08>

[確認方法]

以下の方法にて、本脆弱性のみを選択して短時間で診断することが可能です。

1) QualysGuard にログインし、"Preferences"->"Options"->"Profiles"より"New Profile" を作成します。

2) "Scanned TCP Ports"オプションの"None"を選択し、"Additional"にチェックを入れ、TCP ポート「139,445」を記入します。

3) "Vulnerability Detection"オプションの「Custom」を選択し、"Configure..."をクリックします。

Find を「QID」、within を「All」、containing を「90113」として"Search"し、QualysID「90113」を選択して"OK"してください。

もし、Windows(NetBIOS)マシン名でホストの脆弱性を調査したい時には、QualysID「82004」も選択してください。

4) "Profile Title"をつけ、最後に"Save"します。

5) "Scan"->"Launch Scan"で診断対象の IP を選択し、先程作成した"Options"を選択し、"Start Scan"します。

- 以上 -

お問い合わせ窓口)

富士通株式会社 アウトソーシング事業本部

セキュリティサービス統括部 セキュリティシステム部

qualys-support@support.fujitsu.com

<http://segrou.fujitsu.com/secure/service/attacktest-express/index.html>

担当：長谷川、市川、松本